

観光列車の取り組み

新たな観光列車「スタートレイン計画」

これまで様々な観光列車を運行してきましたが、これらの車両は老朽化により、既に廃車となったものがあるほか、今後継続的に運行できる車両が少なくなっています。そこで、車両・運行体系・サービスなど全く新しい観光列車を運行することで、沿線と共に北海道を活性化する計画「スタートレイン計画」をスタートさせました。

キハ143形一般気動車を改造し、グレード差を設けた2編成(4両編成)を製作します。車両仕様はコンセプトに基づき、水戸岡鋭治氏と当社により共同で検討しています。「赤い星」は、北海道開拓使のシンボル「赤星」をイメージし、新たな旅を開拓します。「青い星」は、「ラベンダー」や「青い池」をイメージし、沿線をお楽しみいただきます。

2026(令和8)年春からの運行開始を予定しています。



赤い星デザイン



青い星デザイン



観光列車の取り組み

HOKKAIDO LOVE!ひとめぐり号の運行

多目的特急車両「ラベンダー」・「はまなす」編成で北海道内を周遊する貸切列車として2021(令和3)年10月から始まり、今年で4回目の運行となります。

日本航空(株)の客室乗務員である「JALふるさとアンバサダー」北海道地区担当が企画段階から携わり、オリジナルの車内アナウンス、沿線自治体からの「ふるさとメッセージ」など、航空機の機内さながらの雰囲気客車内でお楽しみいただける様々な企画を準備しています。



花たび そうや号の運行

2019(令和元)年夏に東日本旅客鉄道(株)から借り受けた車両を使用して宗谷線で運転し、ご好評いただいた「風っこ そうや」号を受け、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による2年間の運休を経て、自社車両による同線での観光列車として、2022(令和4)年5月より旭川～稚内間で運行開始しました。

各停車駅において地域の皆さまによる「お出迎え・お見送り」などを行うほか、ご当地キャラクターの登場や特産品販売、車内での「おもてなし」で259.4km、約6時間半の旅を盛り上げています。



全日本空輸(株)と連携し、一定の条件を満たしたお客様にANAオリジナルグッズをプレゼントする企画も実施しています

THE ROYAL EXPRESSの運行

2020(令和2)年より、北海道胆振東部地震の影響を受けた北海道を応援するため、また、観光振興と地域活性化を目的として東急(株)と共同で北海道での運行を開始し、今年で5年目となります。

今年度は8月上旬から9月下旬まで、道東エリアを中心としたコースと道北エリアを中心としたコースで運行します。



THE ROYAL EXPRESS



停車中のおもてなしの様子

SL冬の湿原号の運行

SL冬の湿原号は、2021(令和3)年度から内装のリフレッシュなどのリニューアルを実施し、2022(令和4)年度に完了しました。

白銀の釧路湿原を力強く疾走する「SL冬の湿原号」は、冬の釧路観光の風物詩です。1・5号車の「たんちょうカー」に加え、2～4号車「ストーブカー」はノスタルジーを感じるどこか懐かしいレトロな室内へリニューアルし、魅力度がアップしました。



SL冬の湿原号



たんちょうカー